



## 北海道高等学校家庭科教育研究会 「住教育セミナー」に参加して

札幌支部 工藤美智子

8月1日「かでの2・7」にて、5回目の住教育セミナーを開催しました。女性委員6名で、高校教諭16名に「一人暮らしの住まいの設計」と題しての実習指導です。前半20分間で、生活行為と生活空間のつながり、室内のゾーン分け、動線・動作寸法、構造体、室内環境など実習説明をし、その後約1時間個人実習です。教諭3名に対し委員1名が個別指導しました。今年度は、即授業に活用できる内容を意識し、生徒の立場で実習に挑んで頂きました。自分で手を動かす事で、作業がなかなか進まない生徒の気持ちや、どの部分で手が止まるかなど気付く事が出来た様です。最後に各グループから1名ずつ発表して頂き、委員からも2名が事前に作成したものを発表して終わりました。

高校家庭科では、生活力をはぐくむとして、衣・食・住分野の授業がありますが、住分野の指導方法や教材の準備に苦勞しているのが実情だそうです。実習に使用した教材は、持ち帰り用にもう1部ずつ配布しています。

以前参加したセミナーを授業に活用して下さっていらっしゃるこの話を聞くとうれしいものです。

建築士会からの出前講座も、条件が合えば導入したいと回答下さった先生もいらっしゃいます。

このように、子供達を指導する立場の方たちとの接点をもっと広がって行くと、心身共に豊かな住生活について意識を向ける方が増えるのではないかと考えています。



## 女性建築士の集い・函館

道東B（斜里支部）  
川勝 美由紀

8月26日（日）曇り空の下、夏の終わりとは思えない暑い日でした。建築史家・北海道大学名誉教授角幸博氏と函館支部長でもあり古建築保存再生の名手でもある山内一男氏にガイドをしていただき、会員外6名を含め35名で函館元町あたりを散策しました。



旧相馬邸の前・参加者全員で



レストランでは美味しいランチにお腹も満たされ話も盛り上がり充実した集いとなりました。

参加いただいた皆様、集いの準備に係わっていただいた方々、本当にありがとうございました。



フランス・スイーツレストラン「ベシェ・ミニヨン」



旧佐田邸（プレーリーハウス）昭和3年築・木2階建  
田上義也設計

外観はもちろん細部にまで施したデザインは芸術そのものでうっとりでした。年月が経っても保存再生により出会えることは感激であり、古建築の素晴らしさを伝えることの大切さを改めて感じました。

旧相馬邸は、屋根裏に函館大火の修復跡も見ることができる和洋折衷の豪邸です。歴史を感じ当時の生活も伺える木造住宅の素晴らしさにため息がでました。

耐震に配慮された東本願寺。大正ロマン感じさせる建物が立ち並ぶ界隈が坂の町に美しく溶け込んでいました。教会の礼拝堂からは美しい声に癒され散策を満喫しました。